

子ども多文化共生センター通信 (テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

発行元 子ども多文化共生センター (TEL 0797-35-4537)

発行日 2018(平成30)年10月17日(水)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま
(イメージキャラクター)

第69号

子ども多文化共生サポーターの皆さんは外国人児童生徒の支援だけでなく、母国の文化や習慣の講演を学校で行ったり、民族衣装に身をつつんでボランティアとして各種イベントを盛り上げたりしてくれています。今回はその活動の一部をご紹介します。

◆外国人児童生徒にかかわる就学支援ガイダンス (7/21 神戸市、8/4 芦屋市、8/18 朝来市、9/9 姫路市)

県立高等学校の入試制度の説明を行った後、先輩による日本語と母語での体験発表では、サポーターや日本語教室等の支援を受けた先輩たちから高校受験や大学受験での経験や、今も自分の夢に向かって努力を続けていることなどが発表されました。

個別の教育相談では、参加した小中学生とその保護者や学校関係者から希望にそった進路選択、高校入試のシステムや準備の仕方、学校の勉強や日本語の習得方法などについての相談がありました。サポーターは通訳だけでなく、自身の知識や経験を生かしたアドバイスもしてくれました。



◆ひょうごヒューマンフェスティバル 2018 in あさご (8/18 和田山ジュピターホール)



県教育委員会が開催した「子ども多文化共生教育フォーラム」では、サポーターをはじめ、外国人高校生、地域支援者、行政関係者6名のパネリストが、「外国人児童生徒のライフコースを考える～地域で育む豊かな人づくり～」をテーマにパネルディスカッションを行い、有意義な時間を持ちました。

「子ども多文化共生センター展示」には家族連れが次々に訪れました。子どもたちは、日本にはないお気に入りのおもちゃや楽器を握りしめて試したり、民族衣装の写真を撮ったりしながら楽しんでいました。

新着図書紹介

◆『同級生は外国人!? 多文化共生を考えよう』全3巻 吉富志津代監修 松島恵利子編

外国につながりを持つ子どもの代表的な事例から、考え方や生活習慣など様々な「ちがいを」知り、その「ちがいを」理解し、共に生きていく「多文化共生」について学ぶことができます。

①「どうしてルールが守れないの?」②「どうして頭にスカーフを巻いているの?」③「日本がきれいなのかな?」の全3巻。



ご協力のお願い!

情報検索サイト「かすたねっと」にかかるアンケート調査への協力について

このたび、文部科学省作成の、外国につながりのある児童・生徒の学習を支援する情報検索サイト「かすたねっと」<http://www.casta-net.jp/>をより安全・快適にご利用いただくための改修にあたり、「かすたねっと」の利用に関するアンケートの実施について協力依頼がありました。以下により実施しますので、ご協力よろしくお願いいたします。

- 1 回答期間 平成30年10月5日(金)～平成30年10月31日(水)
- 2 回答方法 以下の回答ページに入力(所要時間10～15分程度)
【回答ページ】 <https://jp.research.net/r/castanet>
(ページを別々に開いていただければ何人でも回答可能)

兵庫県立高等学校「外国人生徒にかかる特別枠選抜について」

平成31年度は外国人生徒にかかる特別枠選抜が、下記5校の全日制高等学校で実施されます。

- ・県立神戸甲北高等学校 総合学科
- ・県立伊丹北高等学校 総合学科
- ・県立香寺高等学校 総合学科
- ・県立芦屋高等学校 普通科(単位制)
- ・県立加古川南高等学校 総合学科

出願資格は、外国籍を有する者で入国後の在日期間が2019年3月末時点で3年以内、学校教育における9年の課程を修了するか修了見込みであり、保護者とともに引き続き県内に住所を定める見込みの者。

募集定員 各校3名

通学区域 県下全域

出願手続 平成31年2月4日(月)～6日(水)

志願変更 平成31年2月7日(木)～8日(金)

選抜実施 平成2月15日(金)

実施内容 適性検査(国語、数学、英語)、面接

合格発表 平成31年2月20日(水)

※不合格の場合は、3月12日に実施される学力検査等を受検することができる。

入学後の支援として、入学した外国人生徒の実態にあわせ、「日本語の習得を支援するため、学校設定教科『日本語』(仮称)などを設置」「ほかの生徒と同じペースでの学習が困難な教科・科目(国語、地歴・公民など)について、別室での取り出し授業を実施」「外国人団体などとの連携による母語を活用した学習支援、教材や保護者への文書の翻訳、面談などの学校生活支援を実施」などといった支援例を組み合わせ実施します。

詳細は、11月中旬頃に発表される各実施校の募集要項をご確認ください。

Information

● ひょうご教育フェスティバル

と き 2018年11月10日(土)12:00～16:30、11日(日) 9:00～15:00

ところ 三木市立三木小学校2階2年生活科室 三木市大塚2-4-39

※「子ども多文化共生センター展示」を行います。スタッフによる世界の玩具の遊び方や楽器の演奏の仕方の説明を聞いたり、民族衣装の試着や記念撮影をしたりするなど、様々な体験ができます。スタンプラリーもあります。

● 2018「人権教育入門講座」

と き 2019年1月26日(土)10:30～16:15

ところ 兵庫県立のじぎく会館 神戸市中央区山本通4-22-15

※次代を担う先生方、地域の指導者の方々、多数ご参加ください。

	ルーム1	ルーム2
10:30～	A 講義「人権教育の在り方」	D 講義「人権啓発の進め方」
12:00	～人権教育の広がりや深まり～	～部落差別解消推進法に基づく取組～
13:00～	B 講義・演習	E 講義・演習(参加型)
14:30	「実践交流①(指導方法)」	「人権に関わる新たな課題Ⅰ」
14:45～	C 講義・演習	F 講義・演習(参加型)
16:15	「実践交流②(授業作り)」	「人権に関わる新たな課題Ⅱ」

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2 県立国際高等学校内

TEL: 0797-35-4537 FAX: 0797-35-4538 E-mail: mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。<http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。